

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第41回放送の概要 (2011年10月29日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 「7つ 8つ 9つ どう といち」でおなじみの「十一の奈良漬」は、「灘の生一本」の酒粕に漬け込み仕上げた自慢の味です。食事の締めくくりに、サンドウィッチや巻寿司などにも御愛用ください。今日は、「十一の奈良漬」黒田食品さまの御協力を頂きました。

(CM) 石川遼です。峰山真彩 (まい) ちゃんは8歳の元気な女の子。でも輸血をしなければ生きてこれなかった。献血してくれてありがとうございます。Love in Action、日本赤十字社。献血可能年齢の拡大など基準の一部が改正されました。詳しくはWebへ。

1. オープニング

先週は木枯らし一番も吹き巻ではマイコプラズマ肺炎が大流行のようで、入院している大人もおられるようです。この肺炎は4年に一度流行ると言われている。秋と言えば芸術の秋で各美術館が盛りだくさんの展示をしています。姫路の歴史博物館では中右さんというコレクターの収集した四大浮世絵師展が開催されています (10月8日~12月4日)。

2. ゲストコーナー：フロッグ西嶋 (義隆) さん (51 陽会)

お父さんが中国奉天の造兵局に勤めており、両親が赴任していたので中国で生まれた。間もなく終戦となり帰国した。小学校2年生2学期の終わりに真野小学校に入学、6年生は菊水小学校、夢野中学、兵庫高校へ進んだ。住居は氷室町、熊野町、湊川町、大同町、今は荒田町3丁目である。

高校に入学した時のゴールデンウィークの文化祭で、伝統を打ち破れ、新しいことをしようと生徒会が言っていたので、クラスメイト4人で吉本新喜劇ばりのドタバタ喜劇を演じた。脚本は自分が書き、あまり練習はせず筋書きだけを決めてアドリブで行ったが大変受けた。当時の文化祭は生徒が見るときはヤジがひどかった。演劇部が芝居をした時、紙切れを散らかす場面になると、3年生の生徒が箒を持って舞台上がり掃除をしていた。英語のセリフでは先言われるので演じる方は鬱陶しい思いをしていたと思う。1年生の終わりの高校入試の時に、駒中出身のクラスメイトの一人と後輩を励ますため、グラウンドに集合した中学生が教室に入る直前にスタンドの上から、「フレーフレー夢中 (駒中)」と言って前日に「がんばれ夢中 (駒中)」と書いた模造紙を広げた。中学生が一斉に振り返ったので今でも印象深く覚えている。当日は生徒は登校禁止のためこっそり学校へ行った。終わると走ってくる男の人がいたので怒られるかと思ったが、駒中の先生でクラスメイトは苦手の先生だったので逃げたが、今の子は誰や、ようやってくれたと言ってくれた。

修学旅行は兵庫高校始まって以来のコースで、初めに指宿に行った。列車で北に上がり、熊本、島原

半島、長崎、唐津など5泊6日であった。昔の列車は自動ドアでないため熊本を過ぎると駅で洗面をしている時に列車が動き出すので走って飛び乗っていた。

クラブ活動は運動がしかなかったのでサッカー一部に入った。神港高校との試合中に近眼のためボールが飛んできたのがわからなかったので、本能的に手でよけたところ神港からあいつあほちゃうかと言われた。退部すると言いに行くと2年生が殴らないかんと言い出したが、入ってきた3年生がやめといたれと言ってくれて助かった。中学の時から文章を書くのが好きだったので文芸部に入った。中学時代は班活動の班ノートを書いていた。ノートには一日あったこと、クラスの問題点などを書いていた。また当時漫画を描くのが好きな生徒がたくさんいたので、貸本漫画に懸賞漫画があり友達と一緒に応募していた。文芸部の活動としては雑誌「砂丘」を発行し、主に童話を書いていた。文芸部には放送スタッフと同級生の「にあんちゃん」を書いた安本末子さんが在籍していた。作品の合評会で顧問の先生が彼女の作品をけなしていたのを覚えている。

大学は立命館大学の経営学部に入學した。大学では陸上の長距離をした。高校時代はやっていなかったもので公式競技は京都駅伝に一度だけ出場した。フルマラソンは社会人になってからである。高校教員の時代は山岳部の顧問をしていたので、山で生徒にほったらかしにされないよう当時は放課後ずっと走っていた。六甲縦走もやったことがあり最高タイムは6時間5分であった。新日本体育連盟の主催の縦走に参加したので、参加人数はそれほど多くないため、登り以外はずっと走っていた。鈴蘭台高校時代はロードレーサーの自転車もしていた。鈴高のメンバーはスキーが好きで足腰を鍛えるために自転車を選んだ。

3. ミュージック：高村コータロー「川の流れるように」

10月になったら何故か思いだす人を紹介します。2004年12月17日に亡くなられたシンガーソングライターの高村コータローさんは、やんちゃなロックシンガーで面白い曲をたくさん書いている。2001年10月18日の誕生日にしんどいと言って病院に行くと言われ肺がんと診断され、半年と宣告されたが3年頑張った。今日の曲は美空ひばりさんの「川の流れるように」を彼なりの想いをこめてアレンジしたものです。同じ肺がんを患っている方ということで、投薬や治療の様子をHPに公開しているのでたくさんの方が励まされている。10月18日になると8年経つがやはり思いだします。

4. ゲストコーナー(2)：

大学卒業後は高校の教師で、初めは県立神戸商業（商業→社会科を教える）に14年、鈴蘭台高校に12年、御影高校に10年、ここで定年退職し北須磨高校で1年間再任用、星陵高校で非常勤講師の5年目になる。今、週4日で12時間教えている。

似顔絵を書き始めたきっかけは県商の時から学級通信をずっとB4版手書きで4000枚程書いてきた。鈴蘭台高校時代に学級通信を配るなり捨てる生徒がいたので、捨てられないようにするにはどうしたらよいかを考えた結果、生徒の似顔絵を入れることにした。生徒の写真を家に持ち帰り一生懸命描いた。職員は職員会議の時に保護者は保護者会で描いていった。似顔絵が面白くなりあまり込んでいった。その後御影高校でも続けたが、北須磨以降は担任していないので、教材プリントを出す時に生徒の似顔絵を入れたり、試験監督中に描いたり、試験問題に出てくる神社、仏閣、人物などを手書きで描いていた。歴史上の人物はたくさん描いている。生徒は面白いと言ってくれている。生徒も保護者も当時の学級通信などを残していると言ってくれる。絵については正式に習ったことはなく我流である。

木川かえるさんとの出会いについては、面白い文章が書きたいと思っていたので、大阪シナリオ学校通信教育課程の演芸喜劇台本科に夜通った。その学校で木川かえるさんのよく通っていた飲み屋に行った時に絵が貼ってあり、TVに出ているし似顔絵も上手なので教えてもらいたいと思った。店のマスターからかえるさんの描いたかるたを買わないかと持ちかけられ、8000円で購入した。エロハかるたという艶っぽいものであった。梅田花月で似顔絵を描いてもらおうと思って一番前の席に座り、お客さん似顔絵を描きましょかと言った時にエロハかるたをかざしたところ、どこで買いましたから会話がしま

た。

かえるさんに絵を見てもらいたいと思い、京都精華大学で教えていたので大学に手紙を出した。忘れたころに返事が来た。営業に出ているので手紙を見るのが遅れたということと、いつでも来てもらってよいという返事であった。梅田花月の楽屋口で待つことになり、行きつけの喫茶店で絵を見てもらった。かえるさんの花月での出番をお手伝いすることになり、筆で似顔絵を描くのを見て横で勉強した。これは鈴蘭台、御影高校時代のことである。かえるさんの弟子になったのは震災の前である。かえるさんが6年前に81歳で亡くなるまで約10年間弟子をしていた。



かえるさんのジャズ漫画はイーゼルに模造紙を貼りジャズを流し、トークしながらステージで色っぽい絵を描くやり方である。ヌードの絵かなと思うと男女がワインを飲んでいたり、和服の色っぽい女性の絵を描いて、横のかえるがお尻を触っている絵を描いていた。そして手を挙げたお客さんの似顔絵を描いていた。とてもしゃべりの間が上手な人であった。師匠が亡くなった時、奥さんからイーゼル、ベレー帽、舞台衣装、筆をもらったが話をするのはなかなかむずかしい。繁昌亭に一度出演し、ちょこちょこ笑ってもらえたが師匠に比べると雑で恥ずかしい思いをした。地域寄席は時々出たが、最近は益々師匠の絵が素晴らしいと思いステージ漫画は断るようになっている。教師をしているのでしゃべれるが芸人のしゃべりはなかなか難しい。

京都の嵐山に遠足に行った時、生徒に学問の神様の北野天満宮に到着すると西嶋さんがエールを送ると言って先に行っていて待っていると何人かの生徒がやってくるので、一人一人にエールを送ったりした。御影高校定年退職では離任式の日壇上で校歌を歌い、フレーフレー御影のエールを送った。

似顔絵描きで出かけて行っているところは、今日はマリンプピア神戸、明日は新長田本町筋商店街の健康まつり、11月3日大阪港区文化祭、11月5日は京都芸大の学園祭、6、7日は県立大の学園祭、12日は大阪都島の文化祭、13、19、20、23日はマリンプピア神戸です。盲導犬協会や新開地商店街の催しは100円程度のギャラなので延べ80人位の人があることがある。しゃべりながら描いているので声が枯れる。1枚の似顔絵を描くのに4～5分かかっている。大阪西成区と都島区の区民センターで似顔絵を教えている。神戸では似顔絵の人気はないようだ。

5. なかちゃんの「こぼれた話こぼれなかった話」：まんが甲子園と高校生たち

みなさん、甲子園と言えば「全国高等学校野球選手権大会」のことを思い浮かべますね。でも、いまは多くの高校生の全国大会競技に「なんとか甲子園」と呼ばれているものが多くあります。

そのなかでも、20年の歴史を持つ「まんが甲子園」があります。漫画・コミックスは高校生たち若者を象徴する文化として、高校の部活動で「まんが研究会」通称「漫研」といわれているサークルが人気です。「まんが甲子園」は、高校生を対象とした漫画コンクールの全国大会で、毎年8月に高知市で開催されています（正式名称は「全国高等学校漫画選手権大会」。なぜ高知かというと、高知県出身の漫画家は多く、「アンパンマン」のやなせたかしさん、横山隆一さん、はらたいらさん、西原理恵子さんなど、蒼々たる方々ばかりです。やなせたかしさんたちが地元の貴重な文化資源として提唱され、高知県等が呼びかけて始まったのです。20年前の1992年から始まり、4年前の大会には漫画好きで有名な麻生太郎首相が挨拶に行ったというエピソードもあります。

競技は、高校単位で1チーム3～5名が、予選テーマに基づいた作品を大会事務局に提出し、予選審査が行われ、本戦「まんが甲子園」に出場する30校（今年の第20回記念は35校）が選ばれ、高知市に集結します。

本戦の第1次競技では当日発表の統一テーマに基づいて、制限時間（5時間半）内にアイデアを出し作品に仕上げ提出。ここで、決勝進出校15校が選ばれます。選ばれなかった15校は敗者復活戦に

回ります。敗者復活戦は当日の真夜中0時までに、与えられたテーマに沿って、宿泊先で作成提出。翌日早朝から、街中で、一般市民の投票と審査員審議により5校が復活します。合計20校が決勝戦に出場できます。今年は20回大会で5校多くなっています。

決勝戦は新たに与えられた統一テーマに基づき、制限時間（5時間半）内にアイデアを出し作品に仕上げ提出します。審査によって入賞校が決定されます。決勝戦の審査待ちの間に、有名な漫画家たちの特別指導が受けられたり、最近では、漫画の出版社のスカウトたちが、これはという才能溢れた生徒をノミネートしたり、プロへの登竜門の一つとしてチャンスを与えてくれます。

兵庫県の代表校の戦績は20回の大会のうち、兵庫県の高校が本戦に出場できたのは、たった8回です。ちなみに、親和女子、姫路工業、神戸女子商業、長田、明石、青空、神戸海星女子、明石高専、香寺の各校で、ここ3年は出場できていません。うち5回決勝に進出し、神戸女子商業の2位が最高です。実は、第5回1996年の大会に、私の娘の環（たまき）が漫研の部長を務めていた親和女子が初めて決勝に出たので、それ以降全くチャンスの無い母校の親和では「伝説の環さま」と言われているそうです。いまでも、高知市の商店街の周りの道路脇に、親和女子高の記念碑が建っています。これからも、日本の世界に誇る文化の一つとして、漫画に取り組む高校生たちの励みとして「まんが甲子園」が賑わうこと、また兵庫県の高校も本戦出場、行く行くは優勝を期待したいと思います。

6. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

明日、新長田南地区商店街でこなもん祭が開催されます。13時～15時ですが前後にイベントもあります。午前は生田川公園の多文化交流フェスティバルに行きましょう。11月3日は10時～15時に湊川公園で実りの祭典が開催されます。県内から牛や野菜がやってきます。3日に王子公園で動物の体重を測る集いがあります。12、13日に姫路でB1グルメグランプリが開催されます。最近のルールでは地元はトップにはなれないようになっている。

7. エンディング

西嶋さんが投稿しているブログ「さぼろう新聞」は、頑張るのではなくさぼろう、息抜きをしようという意味で、以前そのような京阪神のスポットを集め出版した。メンバーがこのまま解散するのは寂しいので1週間交代でブログに息抜きスポットを掲載することにした。

寒くなってくると乾燥するので肺を強化するためゆっくり深呼吸をしましょう。

8. 来週のゲスト

エキストラ珈琲の経営者の小室こゆみさんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com